



## 第16回 能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 研究発表会 能勢高校 SGH中間発表会を開催しました！

1月7日(水)、「第16回 能勢地域小中学校一貫教育・連携型中高一貫教育 研究発表会および能勢高校 SGH中間発表会」を能勢高校にて開催しました。今年は、『グローバル人材の育成』をテーマに、第一部ではSGH中間発表会、第二部では授業公開、第三部では研究討議を行いました。



SGH中間発表会では、能勢高校2年SG選択生徒14名が、モンゴル実態調査『貧困とストリートチルドレン』、鳥取で行った実態調査の発表を行いました。また、全員で能勢町を英語で紹介しました。1年GS選択受講生3名は、2月の最終発表会に向け、これからも



## 能勢町の福祉施設を訪問します！

2,3年選択科目「社会福祉基礎」にて、11月より3週に渡って、能勢町の福祉施設「三恵園」(産経新聞社会福祉事業団)の各事業所を訪問するため、10月25日(木)に関西福祉科学大学 一村小百合教授による授業を行いました。「三恵園」の職員の方々も参加していただき、訪問交流のポイント施設で福祉への学びを深めるための知識や心構えなどを学びました。

## 大丸梅田店にて販売実習に行きました！

10月27, 28日(土日)の2日間、大丸梅田店地下2階の生鮮食料品売り場で、農業系列選択生徒は、販売実習を行いました。前日までの販売物の準備に始まり、入店後も販売場所の展示や商品の陳列等、単に接客・販売するだけではなく、大きな流れを体験することができました。売り場以外でも呼び込みの体験や大丸店内でポスターも掲示など、充実した実習となりました。



## 秋のお祭りに参加しました！！

いろいろ

10月14日(日)箕面市国際交流協会MAFGA(多文化交流センター)で開催された主催の、「**モンゴルひつじフェア**」がありました。能勢分校GS講座受講生の1年生7人と短期留学生セリーナが参加し、能勢高校・能勢分校の手製のモンゴル遊牧民移動式住居「ゲル」を皆で組み立てました。その中で、SGH 海外実態調査モンゴルと国内実態調査鳥取の活動を展示し訪れる人々に説明しました。また、モンゴルの羊毛を使い、羊のマスコットづくりのワークショップも行いました。

11月3日(土)「**能勢町文化フェスティバル**」のオープニングにインドネシアのガムラン演奏で参加しました。メンバーはSGHの1~3年生6人に留学生のタイのカオファーン、マレーシアのセリーナ、そして豊能町ガムラン演奏集団マルガサリ4人のグローバルチームです。インドネシア伝統の打楽器から流れる、癒し系の素晴らしい音色が会場を包み込みました。

11月10日(土)には、能勢町東地域教育協議会が主催された「**親子ふれあい広場**」に、軽音楽部とダンス部が、オープニングで出演しました。他に地域のこども会や小中学校のPTA、青少年指導員協議会、更生保護女性会などの方々も、それぞれこども向けのイベントブースを出され、豚汁やアルフ振る舞いもありました。

また、大阪市内の靱公園では在大阪モンゴル国総催の「**モンゴル祭り**」に参加しました。

11月11日(日)は豊能町の「**とよのまつり**」活動の紹介写真を展示しました。モンゴルに行ったも、展示場所に待機し、質問に答えたり、説明を行ったりしました。



ア化米の

領事館主

にSGH  
生徒2人

## SGH(スーパーグローバルハイスクール)

### ▶ 3年SG 基礎知識講座 10月11日(木) 「タイについて」

留学生：カオファンさん (タイからの留学生)

今年長期留学で能勢高校に来ているカオファンくんが3年生に向けて出身国のタイについてプレゼンテーションしました。



### ▶ 2年SG 基礎知識講座 10月31日(水) 「マレーシアの熱帯雨林の生態系」

講師：乾 陽子さん(大阪教育大学准教授)

遠隔ネットシステム『スムーズスペース』が新たに導入されました！これを利用すると、離れた空間と空間をつなぎ、距離を越えたコミュニケーションを実現することができます。

### ▶ 2年SG 重点分野講座 11月8日(木) 「フェアトレードの仕組み」

講師：斉藤 和子さん(エスペーロ能勢オーナー)

「fairtrade shop & cafe エスペーロ能勢」オーナーの斎藤さんご夫婦にお越しいただき、フェアトレードの仕組みやエスペーロ能勢ができるまでの経緯についてお話いただき、生徒たちもフェアトレードについて、何ができるのかを考える良い機会となりました。



### ▶ 1年GS 課題探究重点講座

「持続可能な地域づくり」をテーマとした、能勢町との地域連携公開講座を2回開催しました。

#### 1回目 10月29日(月) 「私たちの地域にとってのSDGsとは」

講師：榎原 友樹さん(株式会社E-konzal代表)

#### 2回目 11月8日(木) 「日本版シュタットベルケと地域活性化の取組」

講師：磯部 達さん(みやまスマートエネルギー株式会社代表)

これは能勢町と能勢高校が連携し、SDGs(持続可能な開発目標)をどう能勢町に取り入れ、地域創生に生かせるかを考える、公開講座の第2回目となります。

## 校外発表

10月12日(金) 「能勢高校を応援する会」



1年グローバルスタディ(GS)受講生徒の2人が「再生可能エネルギーの能勢町での活用」について、プレゼンテーションを行いました。能勢高校での在ドイツ日本国大使館 川又参事官の講演(能勢町との共催)がきっかけ始まった「ドイツのシュタットベルケの仕組みを能勢で活用できないか」からの課題研究です。今回、能勢町住民の皆さんに聞いて頂くことができ、今後の研究の励みになりました。

### ▶ スムーススペースの活用 11月7日(水)

中間発表会終了後、本校スムーズスペースを豊中高校と繋ぎ、交流授業を行いました。

### 11月14日(水) 「NTT主催スムーズスペースイベント」



## 公開講座 持続可能な地域づくり

2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。今回、能勢高校と町が連携し、地域にとっての持続可能性を探ります！



### ▶ 2年SG 重点分野講座

11月20日(火) 「能勢の福祉の現状」 講師：山野 則子さん

- ・時間：15:30~17:30
- ・場所：能勢高校 本館2階生物教室

大阪府立大学の山野教授をお迎えし、「能勢の福祉の現状~コミュニティを地域活性化に活かす」と題して講演とワークショップを行っていただきます。

### ▶ 1年GS 課題探究基礎講座

11月21日(水) 「SDGs×地方創生」 講師：川又孝太郎さん

- ・時間：13:10~15:00
- ・場所：能勢高校 本館2階生物教室

在ドイツ日本国大使館参事官の川又さんをお迎えし、5月の講座「地域エネルギー会社による地域活性化とエネルギー転換」を踏まえ、新たに「」と題し、講演とワークショップを行います。

## マレーシアからの留学生が帰りました



10月6日から11月5日までの滞在で短期留学に来ていたセリーナが留学期間を終えて、帰国しました。

10月29日の1年GS課題探究基礎講座では、セリーナによる英語プレゼンテーションにて文化、宗教、習慣、ファッション、食べ物など、多民族国家ならではのマレーシアの基礎知識について学ぶことができ、2年次に修学旅行で訪問するマレーシアについて理解を深めることができました。



